

VI. 保育士課程（子ども支援学科のみ）

1. 保育士課程とは

保育士は、児童福祉法第18条の4に基づき、都道府県知事の登録を受け、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者とされ、一般に保育所など児童福祉施設において子どもの保育を行うことを職務内容としています。

本学では、幼児教育に関する幅広い知識を備え、将来の幼保一元化等、新しい動向にも対応できる保育者を育成するために、そして、家庭や地域における子育て支援もできる真の幼児教育のプロを育成することを目標としています。

保育士資格は、保育士試験に合格するか、厚生労働大臣の指定を受けた「指定保育士養成施設」を卒業することで得ることができます。人間開発学部子ども支援学科は「指定保育士養成施設」に指定されています。子ども支援学科で保育士資格を得るためには、保育士課程に登録し、課程で定められた科目を全て修得して卒業することが必要になります。

平成15年11月29日以降、保育士資格は名称独占資格（国家資格）となり、「保育士」として働くには、都道府県への登録を行わなければならなくなりました。都道府県への登録がなされると「保育士証」が交付されます。

履修上の注意

- 1) 本課程は、人間開発学部子ども支援学科生のみが受講することが出来る。
- 2) 諸手続きおよび伝達事項等については、教職・資格課程掲示板に掲示する。

履修手続

- 1) 履修登録
履修登録の際、「教職・資格」の選択画面で「保育士」をチェックし、各自が履修する保育士課程の科目を選んで、指定された期間に登録しなければならない。
- 2) 課程費納入
保育士課程を受講するには授業料の他に「課程費」が必要である。納入時期は1年後期および3年前期を予定している。定められた期日までに、証明書自動発行機から納入すること。納入期日・金額等については掲示する。

保育士登録の手続き（保育士証の申請方法）

- 1) 一括申請
本学では、4年次生で卒業時に保育士課程の所定の単位を修得出来る見込みのある者を対象に、大学が一括して保育士登録機関 登録事務処理センターへの登録申請を行う。登録されるのは、申請書提出時点において、申請者の住民票にある住所地の都道府県である。一括申請を希望する者は、ガイダンスに出席し所定の手続きを行う必要がある。この場合、卒業後の4月上旬に「保育士登録済通知書」が登録事務処理センターより郵送され、5月から6月に「保育士証」が交付される。
- 2) 個人申請
個人で保育士登録を行う場合は、各自で保育士登録機関 登録事務処理センターに申請手続きを行う。「保育士登録の手引き」を入手した後、指定保育士養成施設卒業証明書の発行をたまプラーザ事務課もしくは教務課に申請すること。

2. 保育士課程における本学での授業科目及び履修方法

保育士課程の授業科目は児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に定められています。法令上修得することを必要とする最低修得単位数を基に、本学での具体的な履修方法および授業科目について記します。保育士資格を取得するためには、表①～③のとおり単位を修得しなければなりません。

①教養科目（必修科目）

本学で開講する科目					告示による教科目		
授業科目名	開講学年	単位	授業形態	教養総合科目における科目区分	系列	教科目	設置単位数
神道と文化	1	2	講義	教養総合科目（神道科目）	教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上
法学（日本国憲法）	1	2	講義	教養総合科目（人間総合科目群）			
コンピュータ技術演習	1	2	演習	教養総合科目（情報処理科目群）			
First Year English I	1	1	演習	教養総合科目（基礎科目群）		外国語	2以上
First Year English II	1	1	演習	教養総合科目（基礎科目群）			
体育概説	1・2	2	講義	専門教育科目（基幹科目）		体育	講義 1
スポーツ・身体文化 I A	1	1	実技	教養総合科目（基礎科目群）			実技 1
スポーツ・身体文化 I B	1	1	実技	教養総合科目（基礎科目群）			
合計必修単位数				12 単位	8 単位以上履修		

②必修科目

本学で開講する科目					告示による教科目				
子ども支援学科開講科目名	開講	授業形態	単位数	開講学年	系列	教科目	授業形態	設置単位数	
保育原理	前期	講義	2	1	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	
教育の原理	前期	講義	2	1		教育の原理	講義	2	
児童家庭福祉	後期	講義	2	2		児童家庭福祉	講義	2	
社会福祉	前期	講義	2	2		社会福祉	講義	2	
相談援助	後期	演習	2	2		相談援助	演習	1	
社会的養護	前期	講義	2	2・3		社会的養護	講義	2	
教職論	後期	講義	2	1		保育者論	講義	2	
発達と学習	後期	講義	2	1	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学 I	講義	2	
保育の心理学	後期	演習	2	1		保育の心理学 II	演習	1	
子どもの保健 I A（健康と発育）	前期	講義	2	1		子どもの保健 I	講義	4	
子どもの保健 I B（疾病と保健）	後期	講義	2	1		子どもの保健 II	演習	1	
子どもの保健 II	後期	演習	2	2・3		子どもの食と栄養	演習	2	
子どもの食と栄養 I	前期	演習	2	3		家庭支援論	講義	2	
家庭支援論	後期	講義	2	3		保育課程論	講義	2	
教育課程論（幼・小）	前期	講義	2	2	保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	演習	1	
保育内容総論	前期	演習	2	2・3		保育内容演習	演習	5	
保育内容（健康）	前期	演習	2	2					
保育内容（人間関係）	後期	演習	2	2					
保育内容（環境）	前期	演習	2	2		乳児保育	演習	2	
保育内容（言葉）	前期	演習	2	3					
保育内容（表現）	後期	演習	2	2		障害児保育	演習	2	
乳児保育 I	前期	演習	2	3		社会的養護内容	演習	1	
障害児保育 I	前期	演習	2	2		保育相談支援	演習	1	
社会的養護内容	後期	演習	2	2・3		保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4
保育相談支援	前期	演習	2	3・4					
保育表現技術（身体表現）	前後	演習	2	3・4					
保育表現技術（音楽表現）	前後	演習	2	3・4					
保育表現技術（造形表現）	後期	演習	2	2・3		保育実習	保育実習 I	実習	4
保育表現技術（言語表現）	後期	演習	2	2・3					
保育実習 I（保育所）	後期	実習	2	3	保育実習指導 I		演習	2	
保育実習 I（施設）	後期	実習	2	3					
保育実習指導 I A	前期	演習	2	3	総合演習	保育実践演習	演習	2	
保育実習指導 I B	後期	演習	2	3					
教職実践演習	後期	演習	2	4					
合計必修単位数			68 単位	最低修得単位数			51		

③選択必修科目

本学で開講する科目						告示による教科目			
子ども支援学科開講科目名	開講	授業形態	単位数	開講学年	備考	系列	教科目	授業形態	設置単位数
幼児教育史（保育・教育の歴史と思想）	前期	講義	2	3・4	6 単位以上	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単位以上
児童理解の理論および方法	後期	講義	2	2					
子育て支援システム論	後期	講義	2	3					
教育相談	後期	講義	2	2					
保育臨床相談	前期	講義	2	4					
保育臨床相談演習	後期	演習	2	4					
カウンセリング概論	後期	講義	2	1					
カウンセリング演習	後期	演習	2	2					
発達臨床心理	前期	講義	2	3					
子どもの食と栄養Ⅱ	後期	演習	2	3					
保育方法論	後期	講義	2	2					
乳児保育Ⅱ	後期	演習	2	3					
障害児保育Ⅱ	後期	演習	2	2					
特別支援教育論	前期	講義	2	3					
保育内容研究（遊びと生活の理解と援助）	前期	講義	2	3・4					
保育内容研究（環境の理解と援助）	前期	講義	2	3・4					
保育内容研究（遊具と保育教材）	前期	講義	2	3・4					
重度・重複障害児の教育	後期	講義	2	2・3					
障害児の理解と指導	後期	講義	2	3					
要保護児・要支援児の保育	後期	講義	2	3					
病児・病後児の保育	前期	講義	2	4					
国語概説	前期	講義	2	3・4					
算数概説	前期	講義	2	3・4					
生活科概説	前期	講義	2	3・4					
歌唱とリズム	後期	演習	2	2	保育の表現技術				
リトミック	後期	実技	1	2					
保育実習Ⅱ（保育所）	前期	実習	2	4	2 単位 選択必修	保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2 単位以上
保育実習Ⅲ（施設）	前期	実習	2	4					
保育実習指導Ⅱ（事前指導）	後期	演習	2	3					
保育実習指導Ⅱ（事後指導）	前期	演習		4					
保育実習指導Ⅲ（事前指導）	後期	演習	2	3					
保育実習指導Ⅲ（事後指導）	前期	演習		4					
最低修得単位数	10 単位					最低修得単位数 9 単位 (保育実習 3 単位含む)			

「保育実習」
の単位認定

「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「保育実習指導ⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲ」は、定められた受講条件をクリアしていなければ履修できない。「3. 保育実習の履修方法について」を参照し、1 年次から計画的に履修すること。

「保育実習ⅡまたはⅢ」の受講にあたっては、保育所での実習を希望する場合、実習・実習指導（事前・事後指導）の全てで「Ⅱ」を履修すること。また、施設での実習を希望する場合は同じく「Ⅲ」を履修すること。

「保育実習指導ⅡまたはⅢ（事前指導）」は、4 年次の「保育実習指導ⅡまたはⅢ（事後指導）」終了時に 2 単位を認定する。従って 3 年次は 0 単位となり、可否で成績がつく。「保育実習ⅡまたはⅢ」は実習終了後の 4 年次前期に 2 単位を認定する。

「保育実習」
の再履修

「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「保育実習指導ⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲ」が不合格（D または R 評価）となった場合、本学で再履修することはできない。詳細は、「保育実習指導ⅠA」授業時に説明する。

3. 保育実習の履修方法について

① 保育士資格取得に必要な教育実習

履修が必要な保育実習科目	現場実習期間	単位数	備考
保育実習Ⅰ（保育所）	2週間	2	必修
保育実習Ⅰ（施設）	2週間	2	必修
保育実習Ⅱ（保育所）	2週間	2	2単位 選択必修
保育実習Ⅲ（施設）	2週間	2	

② 授業科目の構成及び履修条件

科目名	開講年次	単位数	履修（参加）条件
保育実習指導ⅠA	3年前期	2	2年次終了までに ・「教職論」2単位を修得していること。
保育実習Ⅰ（保育所）	3年後期	2	2年次終了までに ・「子ども支援論」「教育の原理」「子どもの保健ⅠA」「保育原理」「保育の心理学」の5科目から2科目4単位以上を修得していること。 ・保育内容に関する科目6科目から3科目6単位以上履修、または修得していること。 ・「保育実習指導ⅠA」を履修していること。
保育実習Ⅰ（施設）	3年後期	2	
保育実習指導ⅠB	3年後期	2	・「保育実習Ⅰ」を履修していること。
保育実習指導Ⅱ	3年後期・ 4年前期	2	・「保育実習指導ⅠB」を履修していること。
保育実習Ⅱ（保育所）	4年前期	2	・「保育実習Ⅰ」を履修していること。 ・「保育実習指導Ⅱ（事前指導）」を履修していること。
保育実習指導Ⅲ	3年後期・ 4年前期	2	・「保育実習指導ⅠB」を履修していること。
保育実習Ⅲ（施設）	4年前期	2	・「保育実習Ⅰ」を履修していること。 ・「保育実習指導Ⅲ（事前指導）」を履修していること。

* 保育実習指導Ⅱは、保育実習Ⅱ（保育所）の事前指導・事後指導です。

* 保育実習指導Ⅲは、保育実習Ⅲ（施設）の事前指導・事後指導です。

* 条件が不足の場合、卒業時に保育士資格が取得できなくなるので、注意して履修してください。

保育士資格取得までの主な行事予定

□ は履修する科目名

*は実習

